

ログアーツ工法

Log Art's

間伐材を活かす

コンクリート

擁壁の修景に！

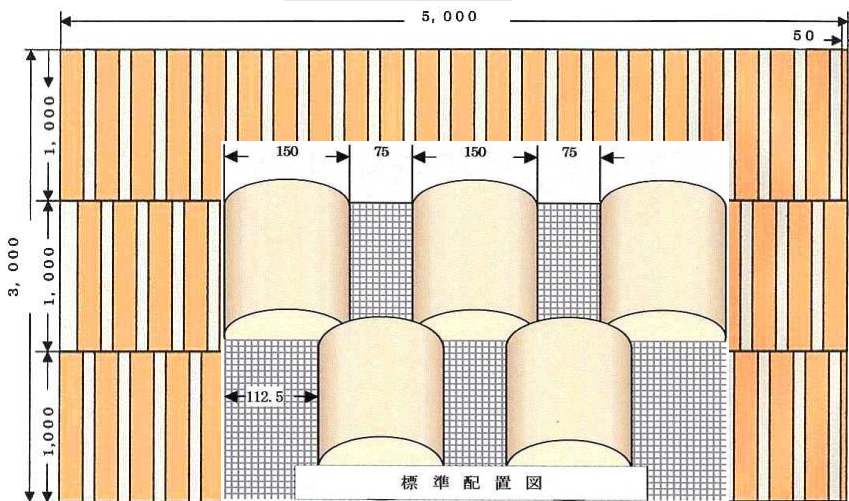
工法の特長

ログアーツ工法は景観に配慮した環境工法です



- (1) ボトやアンカーを使用せずに、接着剤を用いた貼り付け方法です。
- (2) 景観性の向上と、間伐材の有効利用が図れます。
- (3) 機械類が不用な為、施工の対象範囲が広がります。
- (4) 木材が生木でも使用出来るため、乾燥の手間が省けます。
- (5) 在来工法に比べて施工が簡便で、小面積への対応や廃材も使用出来、経済性に優れています。
- (6) 従来化粧型枠では施工後に産廃処理が発生しますが、本工法では端材もフーチングや端部に使用できるため産廃の発生が殆ど無く、資源の有効活用が図れます。

[標準施工図]



[施工面積 15m² 当り]

< 被覆面積 >

- ・木材1本の面積=0.15m²
- ・1、3段目の面積=3.35m²
- ・2段目の面積=3.3m²
- 合計=10.0m²

< 被覆率 >

$$10\text{m}^2 / 15\text{m}^2 = 2/3$$

< 木材使用本数 >

$$10.0\text{m}^2 / 0.15\text{m}^2 = 66.7 \text{本}$$

接着剤の特長

(1) 水作用や経年変化による強度の低下が少なく、効果が持続します。

< 接着剤の特性 >

品番	DT-891A R/H(2液混合タイプ)
主成分	変性エポキシ樹脂/変性ポリアミン
外観	R:白色ペースト状 H:黒色ペースト状
配合比	1:1(灰色ペースト状)
可使用時間	60分

(2) 木材とコンクリートの接着性に優れ、扱い易く、少ない接着面積で強い強度が得られます。

(3) 接着剤は可撓性(たわむ性質)を持った特殊なエポキシ系の樹脂で、木材の反りに対しても一定の追随性を持っています。